

各 位

2025 年 1 月 15 日

マネックスグループ株式会社  
代表執行役社長 CEO 清明 祐子  
(コード番号 8698 東証プライム)

## 第32回「MONEX グローバル個人投資家サーベイ 2024年12月調査」 ～トランプ大統領の再選を受けたマーケットの見通し～

本日、当社のグループ会社であるマネックス証券株式会社および TradeStation Securities, Inc.が共同で下記プレスリリースを行いましたので、お知らせいたします。

記

マネックス証券株式会社 プレスリリース（添付）

## **第32回「MONEX グローバル個人投資家サーベイ 2024年12月調査」** **～トランプ大統領の再選を受けたマーケットの見通し～**

（報道関係者様のお問い合わせ先）

マネックスグループ株式会社 コーポレートコミュニケーション室 加藤 電話 03-4323-8698

（株主・投資家様のお問い合わせ先）

マネックスグループ株式会社 経営管理部 IR 担当 仲野、小森、松浦 電話 03-4323-8698



2025年1月15日

関係各位

マネックス証券株式会社  
TradeStation Securities, Inc.

## 第32回「MONEX グローバル個人投資家サーベイ 2024年12月調査」

### ～トランプ大統領の再選を受けたマーケットの見通し～

マネックス証券株式会社（本社：東京都港区、取締役社長執行役員：清明祐子）は、グループ会社である TradeStation Securities, Inc.（本社：米国フロリダ州、Peter Korotkiy、President）と共に2024年12月12日から12月19日の間に第32回「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」を実施しました。

今回は2025年の日米株価高値・安値予想に加え、リスク回避の必要性について日米個人投資家に調査を行っており、また生成AIや暗号資産への関心についても伺いました。

調査対象の日経平均株価は、8月初旬の急落後に持ち直したものの4万円を手前にもみ合いの展開となりました。一方ダウ平均株価は高値追いの展開を続け、12月に一部構成銘柄の調整によって上値が重くなりましたが、S&P500指数やNASDAQ総合指数は最高値圏で本年を終えようとしています。

そのような環境下で行った調査結果によると、世界株について日本の投資家は楽観が増加、米国の投資家は楽観が減少したものの、DIは共にプラス圏となっております。日米投資家とともに米国株に対する期待値が高く、予想値では米国の投資家より日本の投資家の方が相対的に保守的な見通しとなりましたが、リスク回避については65%近い米国の投資家が必要と見ている一方、日本の投資家では半数にも満たない結果となっております。

マネックス証券では日米株式市場の展望に加え、為替市場や金利、暗号資産の見通し、また重要経済指標についての解説などタイムリーに情報を発信してきました。選挙イヤーと呼ばれる2024年を終え、2025年は各国で新たな政治が動き出すなか、リスク回避に資する分散投資戦略を含め、よりよい情報発信ができるよう精進していく所存です。引き続き皆様の投資対象の選定や投資行動、成果向上がなされるよう努めてまいります。

（2024年12月26日執筆）

#### 1. グローバル調査結果 調査対象：日本・米国の個人投資家

世界の株式市場見通し DI<sup>(注)</sup>は米国の個人投資家においては下落  
[参照：別紙レポート 2ページ グラフ1]

日本と米国の個人投資家に今後3か月程度の世界の株式市場に対する見通しをたずねた

ところ、日本の個人投資家の DI は前回調査（2023 年 12 月実施）と比較して上昇した一方で、米国の個人投資家においては下落しました。

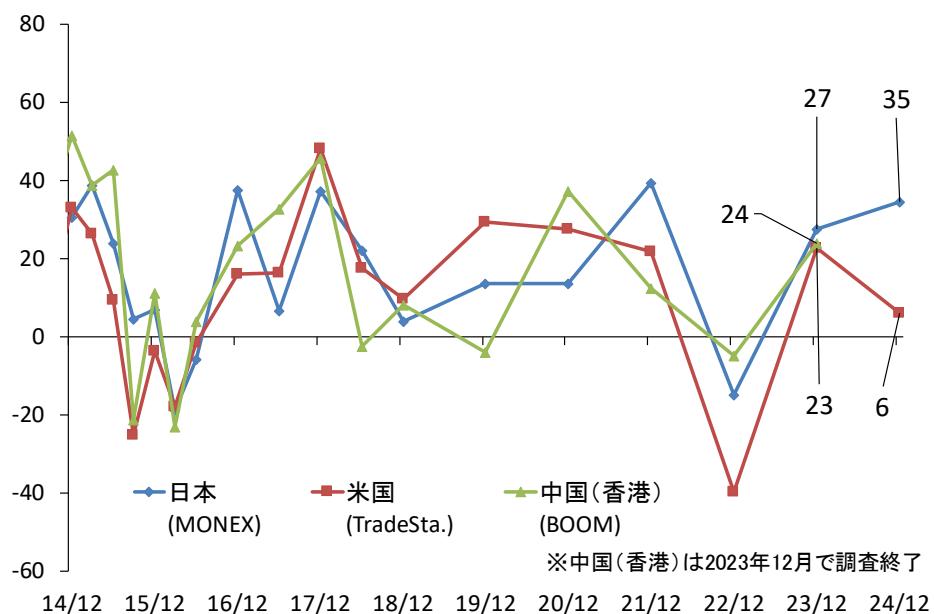
#### 【世界の株式市場見通し DI】

日本： (2023 年 12 月) 27 → (2024 年 12 月) 35 (前回比 8 ポイント)

米国： (2023 年 12 月) 23 → (2024 年 12 月) 6 (前回比 -17 ポイント)

#### グラフ1:個人投資家の世界の株式市場に対する見通し(三地域のDI推移)

(日本、米国、中国(香港)の個人投資家)



(出所)マネックス証券作成

(注) DI (diffusion index) : 「上昇すると思う」、「よくなると思う」と回答した割合 (%) から「下落すると思う」、「悪くなると思う」と回答した割合 (%) を引いたポイント

日本・米国の個人投資家とともに米国マーケットへの期待が最も高い割合に  
[参照：別紙レポート 3 ページ グラフ 2-1]

日本の個人投資家と米国の個人投資家とともに「米国」と回答した割合が最も高くなりました。特に米国の個人投資家の米国への期待は 95%超となっております。

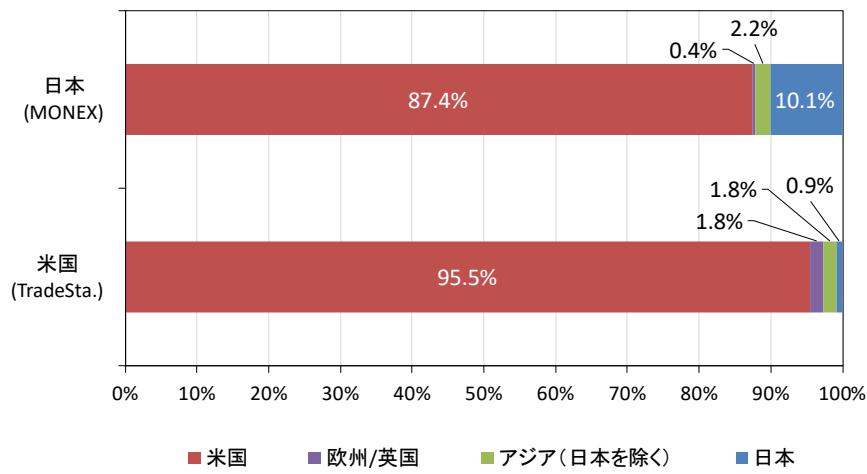
#### 【今後 3 か月のマーケットへの期待度】

日本 米国： 87.4%、 欧州/英国： 0.4%、 アジア（日本を除く）： 2.2%、 日本： 10.1%

米国 米国： 95.5%、 欧州/英国： 1.8%、 アジア（日本を除く）： 1.8%、 日本： 0.9%

グラフ2-1:今後3か月で、どの地域のマーケットが上昇するか(各地域の回答内訳)

(日本、米国の個人投資家)



(出所)マネックス証券作成

2025年の米国マーケット予想、ダウ平均株価の高値予想は45,000ドル以上49,000ドル未満が最多

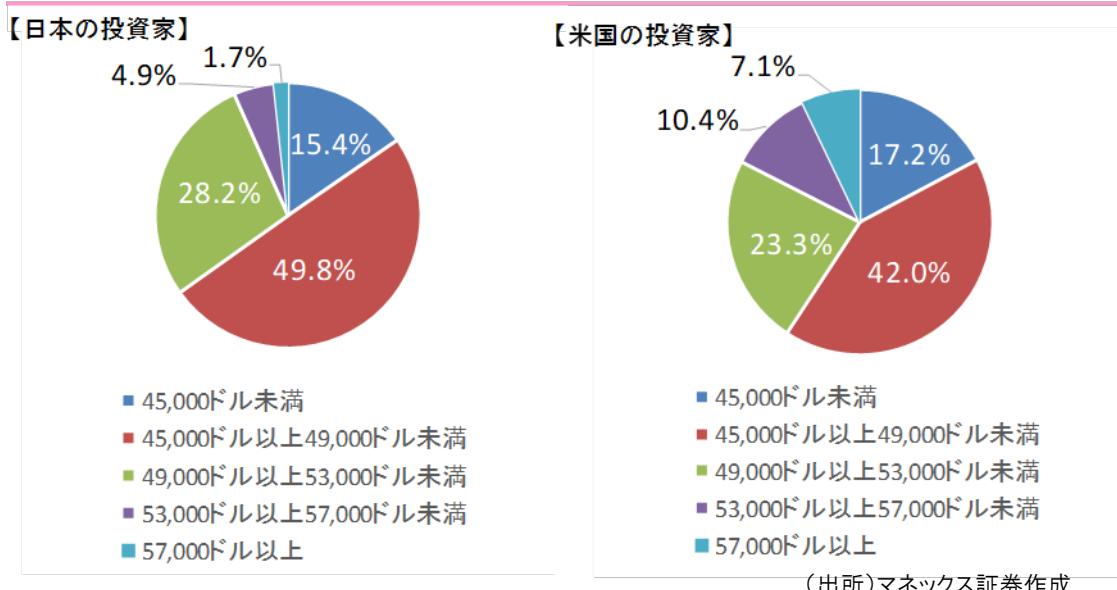
[参照:別紙レポート 5,6 ページ グラフ 3-1、3-2、3-3、3-4]

日本と米国の個人投資家に2025年のダウ平均株価とNASDAQ総合指数の高値予想、安値予想をたずねたところ、2025年のダウ平均株価の高値予想については日本の個人投資家と米国の投資家とともに「45,000ドル以上49,000ドル未満」と回答した投資家の割合が最も高くなりました。また、2025年のNASDAQ総合指数の高値予想については日本の個人投資家と米国の投資家とともに「21,000ポイント以上23,000ポイント未満」と回答した投資家の割合が最も高くなりました。

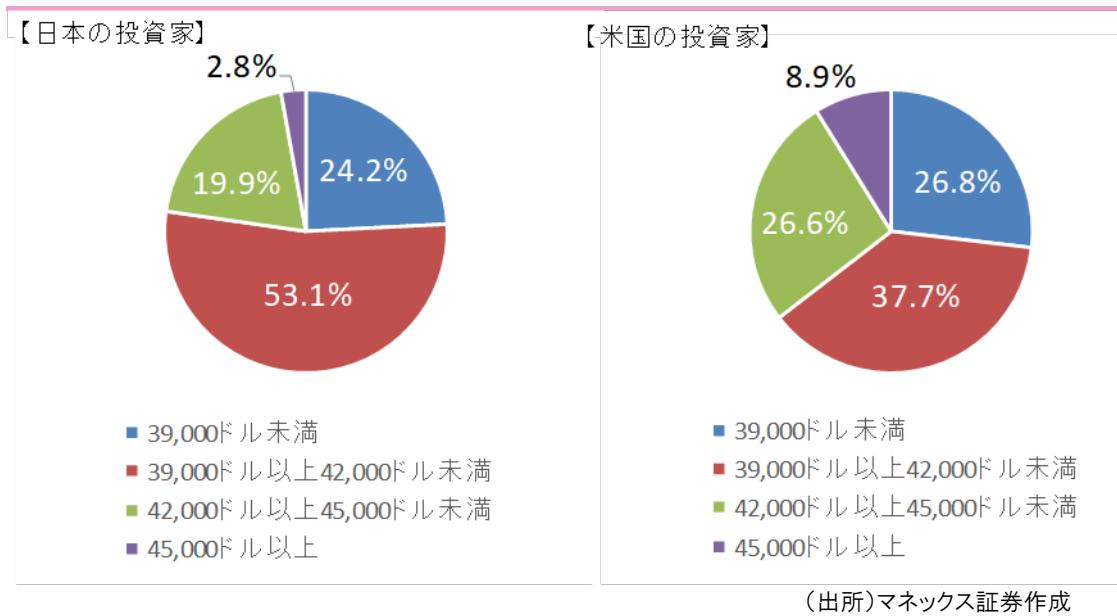
(【参考】2025年1月8日のダウ平均株価終値:42,635.20ドル、NASDAQ総合指数終値:19,478.88ポイント)

【ダウ平均株価】

グラフ3-1：2025年ダウ平均株価高値予想

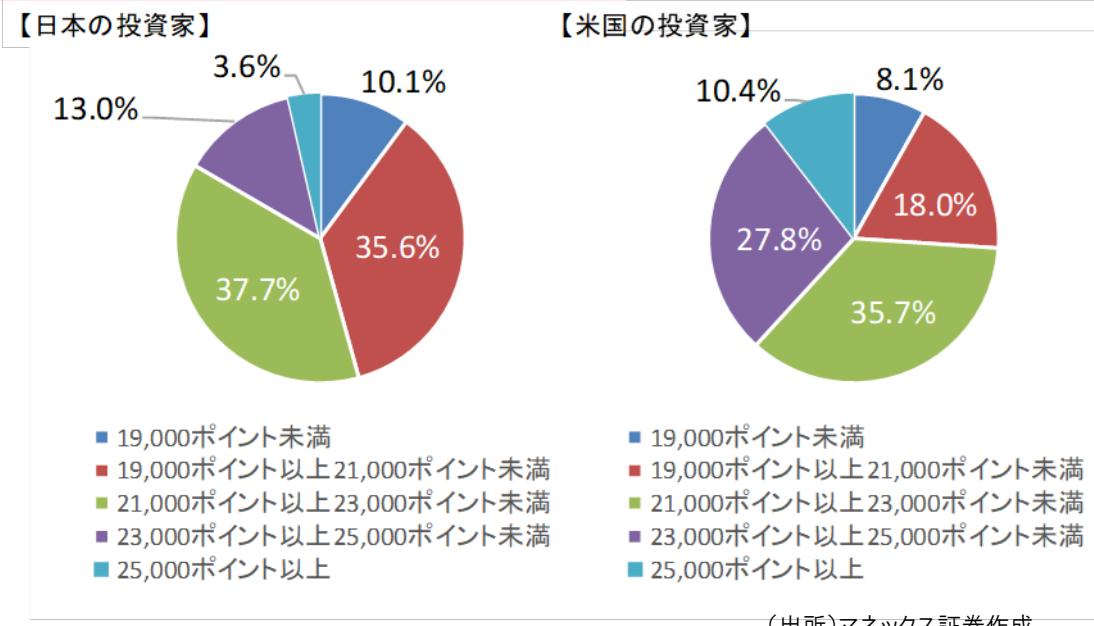


グラフ3-2：2025年ダウ平均株価安値予想

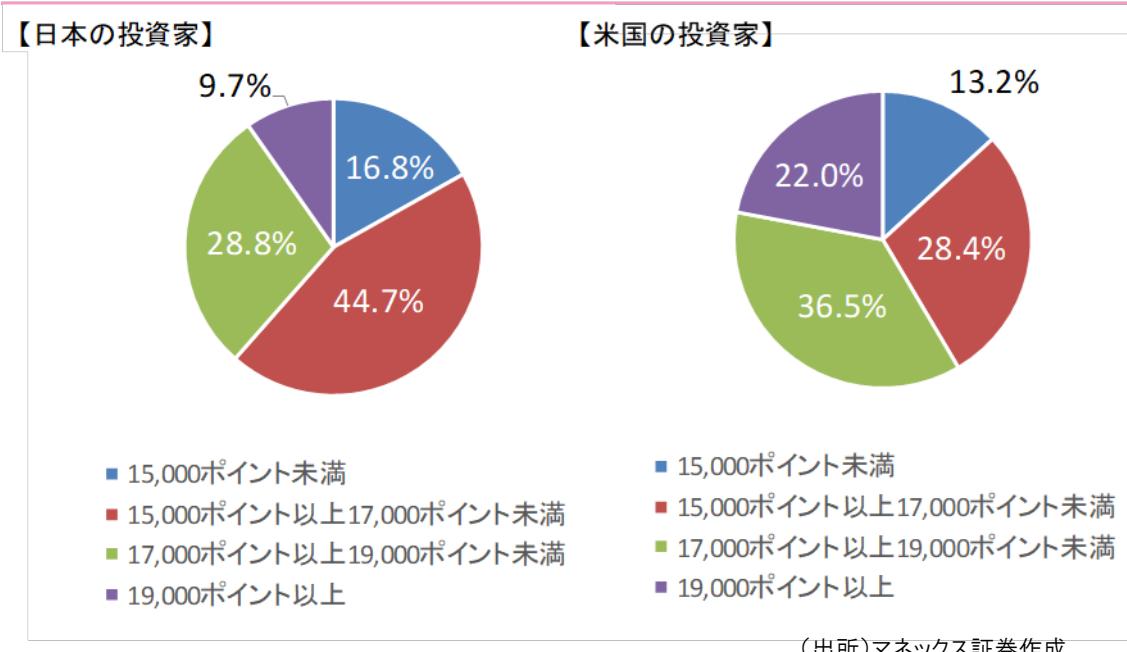


## 【NASDAQ 総合指数】

グラフ3-3: 2025年NASDAQ総合指数高値予想



グラフ3-4: 2025年NASDAQ総合指数安値予想



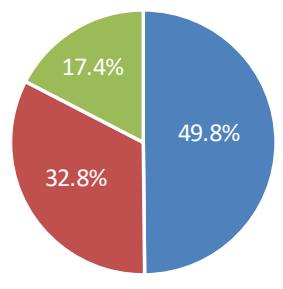
リスク回避の必要性について日本の投資家はやや楽観的

[参照: 別紙レポート 8 ページ グラフ 4-1]

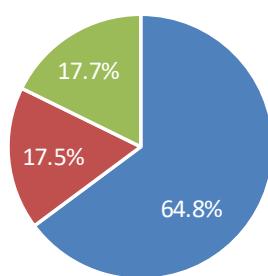
日本と米国の個人投資家に現在の市場環境においてリスク回避をある程度行う必要があると思うかをたずねたところ、米国の個人投資家はリスク回避の必要性が「ある」との見方が 6 割以上ある一方、日本の個人投資家は 5 割を下回っています。

グラフ4-1:リスク回避の必要性があると思うか

【日本の投資家】



【米国の投資家】



■思う ■思わない ■わからない

■思う ■思わない ■わからない

(出所)マネックス証券作成

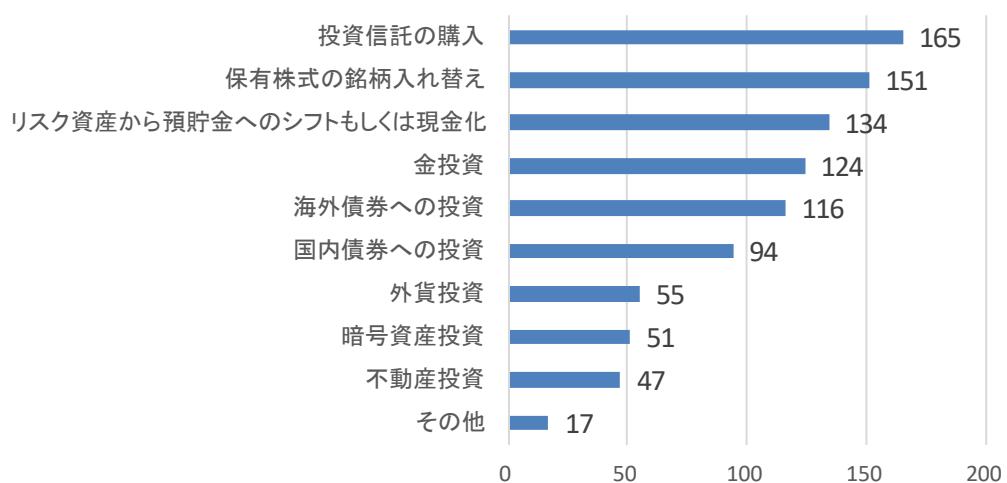
日本・米国の個人投資家の具体的なリスク回避策

[参照：別紙レポート 8,9 ページ グラフ 5-1、5-2]

2024 年中にリスク回避策を実行したと回答した日本と米国の個人投資家に具体的なリスク回避策をたずねたところ、日本の個人投資家のリスク回避策は投資信託の購入を始めとして様々な選択肢に分散している印象です。一方で米国の個人投資家は預貯金・現金へのシフトが他の選択肢を抑えて最多となりました。

【日本の個人投資家】

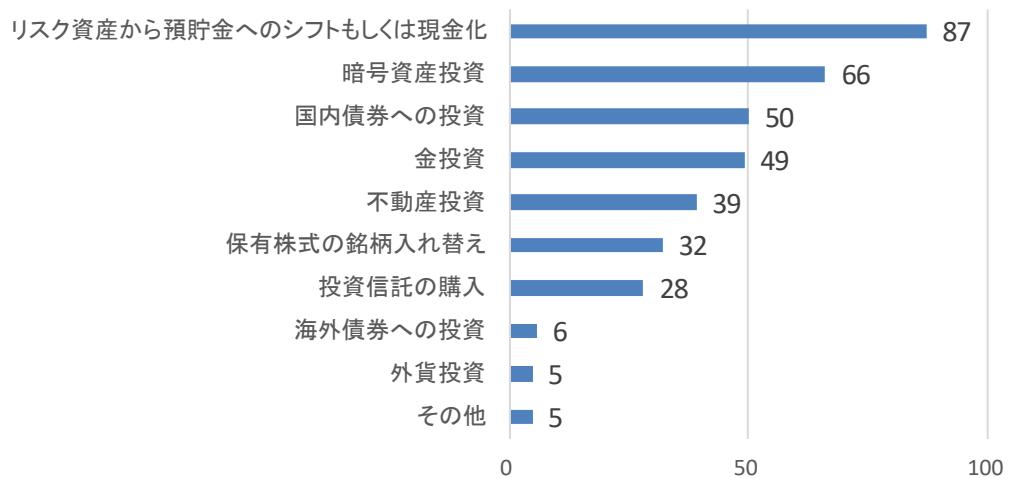
グラフ5-1:具体的にどんなリスク回避策を実行したか



(出所)マネックス証券作成

【米国の個人投資家】

グラフ5-2:具体的にどんなリスク回避策を実行したか



(出所)マネックス証券作成

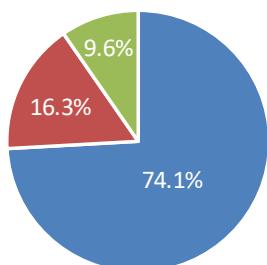
トランプ大統領の再選を受けたマーケットの見通し

[参照: 別紙レポート 9,10 ページ グラフ 6-1、6-3]

日本と米国の個人投資家にダウ平均株価と米国 10 年物国債利回りがトランプ大統領の再選を受けてどう変化すると思うかをたずねたところ、日本の個人投資家と米国の個人投資家とともにダウ平均株価はトランプ大統領の再選を受けて「上昇すると思う」という回答が最多で約 7 割を占めています。一方で米国 10 年物国債利回りについては「上昇」「変わらない」「下落」それぞれの見方が拮抗する結果となりました。

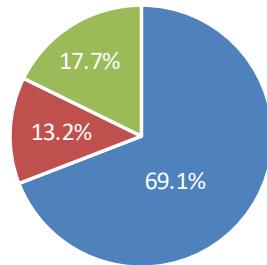
グラフ6-1:トランプ大統領の再選を受けてダウ平均株価はどう変化すると思うか

【日本の投資家】



- 上昇すると思う
- 変わらないと思う
- 下落すると思う

【米国の投資家】

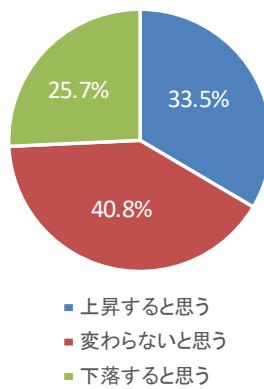


- 上昇すると思う
- 変わらないと思う
- 下落すると思う

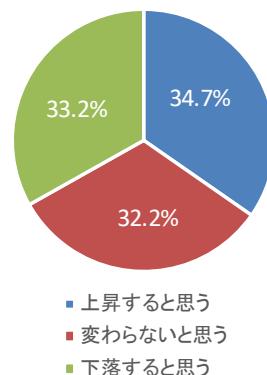
(出所)マネックス証券作成

グラフ6-3:トランプ大統領の再選を受けて米国10年物国債利回りはどう変化すると思うか

【日本の投資家】



【米国の投資家】



(出所)マネックス証券作成

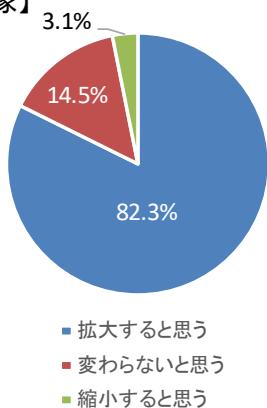
日本・米国の個人投資家とともに2025年の生成AI市場は拡大するとの見方が最多

[参照:別紙レポート 11ページ グラフ7]

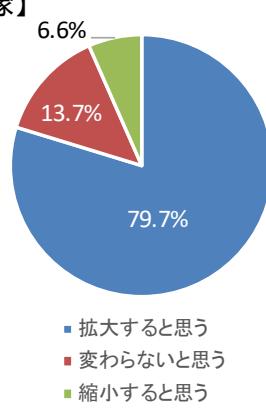
日本と米国の個人投資家に2025年の生成AI市場はどう変化すると思うかをたずねたところ、日本の個人投資家と米国の個人投資家とともに「拡大すると思う」という回答が約8割となりました。

グラフ7:2025年の生成AI市場はどう変化すると思うか

【日本の投資家】



【米国の投資家】



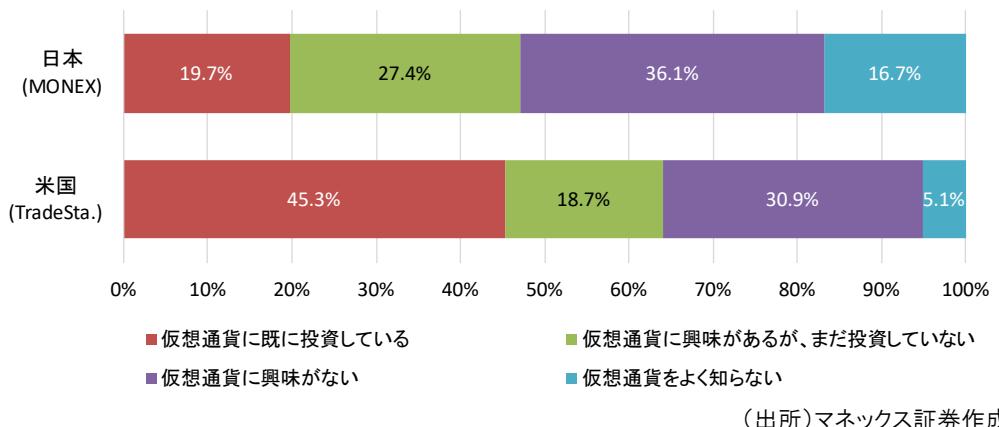
(出所)マネックス証券作成

日本の投資家の暗号資産投資への関心は米国の投資家に比べてまだ低い

[参照:別紙レポート 11ページ グラフ8-1、8-2]

日本と米国の個人投資家に暗号資産(仮想通貨)への投資経験や意欲についてたずねたところ、既に暗号資産に投資している個人投資家の割合は日本が19.7%、米国が45.3%となりました。特に日本の投資家においては「興味が無い」、「よく知らない」という割合が多く、投資対象としての関心はまだ低い印象です。

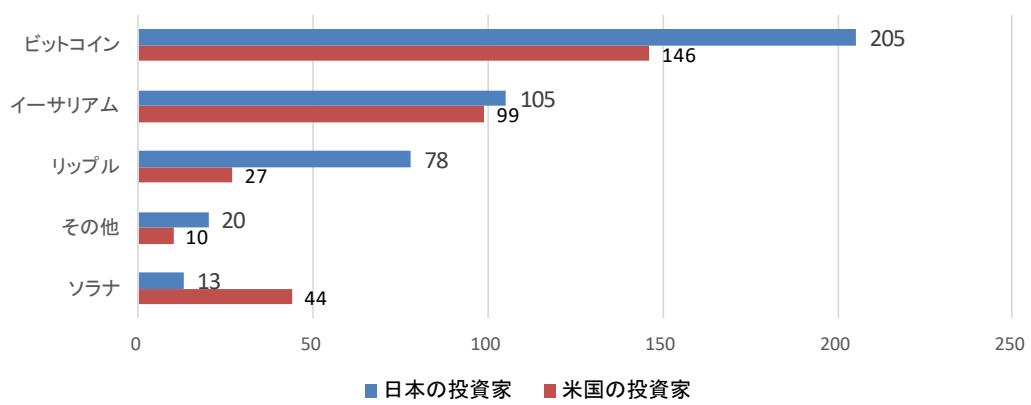
グラフ8-1: 暗号資産(仮想通貨)への投資に対する関心度合い



(出所)マネックス証券作成

既に投資していると回答した個人投資家に具体的な銘柄をたずねたところ、日本と米国ともにビットコインが最多、イーサリアムが次ぐ結果となりました。選択肢のうちソラナは日本での回答数は少ないものの、米国においてはリップルを上回る回答数となりました。

グラフ8-2: 投資している暗号資産(仮想通貨)



(出所)マネックス証券作成

## 2. 日本限定の調査結果 (四半期に1回) 調査対象: 日本の個人投資家

今後3か月程度の株価予想は日本株・米国株・中国株全てのDIが上昇

[参照: 別紙レポート 12,13 ページ グラフ 9-1、9-2]

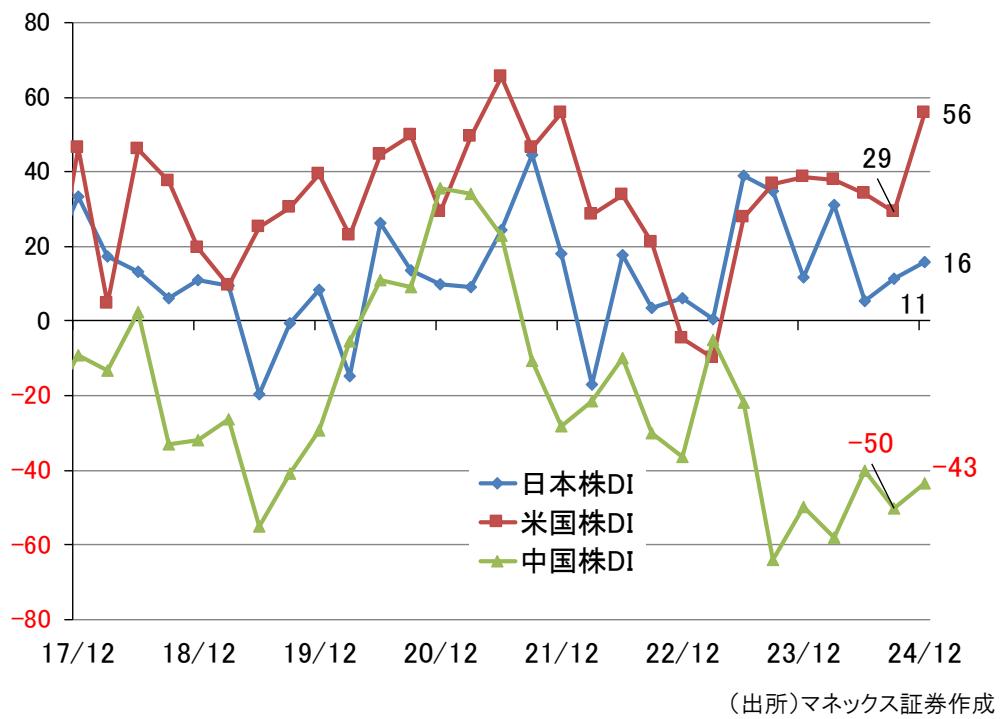
日本の個人投資家に今後3か月程度の各国(日本、米国、中国)株価の見通しをたずねたところ、日本株・米国株・中国株全てのDIが上昇しました。特に米国株のDIは+27ポイントと大きく上昇しています。

【日本株DI】(2024年9月) 29→(2024年12月) 56 (前回比 +27ポイント)

【米国株DI】(2024年9月) 11→(2024年12月) 16 (前回比 +5ポイント)

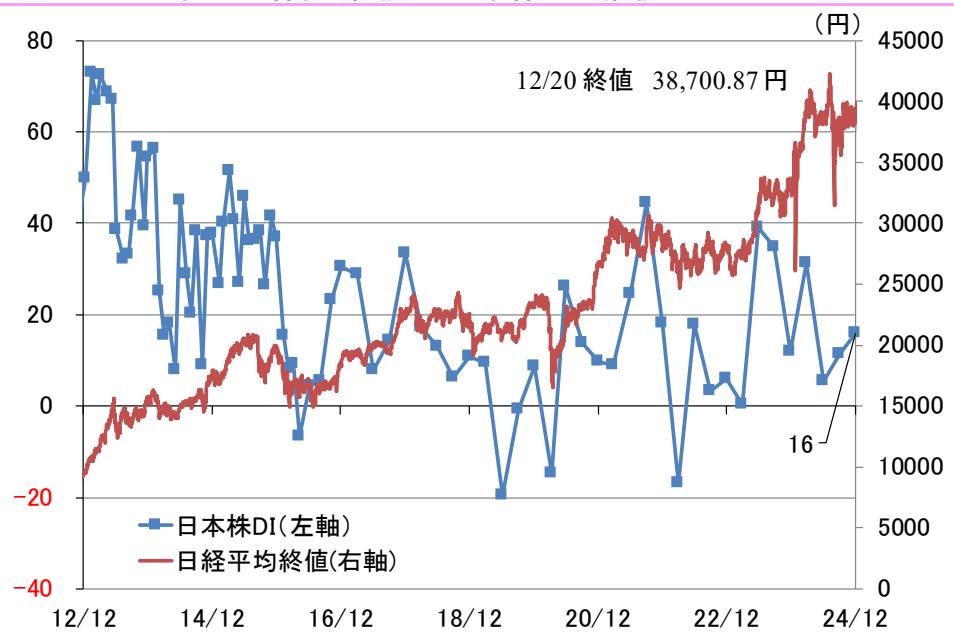
【中国株DI】(2024年9月) -50→(2024年12月) -43 (前回比 +7ポイント)

グラフ9-1：今後3か月程度の株価予想



(出所)マネックス証券作成

グラフ9-2：日経平均株価(終値)と日本株DIの推移



(出所)マネックス証券作成

日経平均株価の高値予想は 40,000 円以上 42,000 円未満が最多で 46.2%

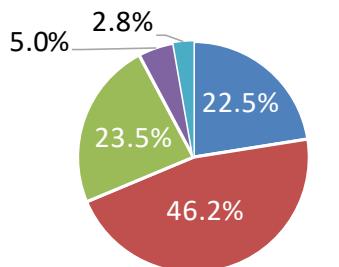
[参照：別紙レポート 14 ページ グラフ 10-1、10-2]

2025 年の日経平均株価の高値および安値の予想をたずねたところ、高値予想は「40,000 円

以上 42,000 円未満」が最多で 46.2%となりました。安値予想は「36,000 円以上 38,000 円未満」が最多で 45.0%となっています。

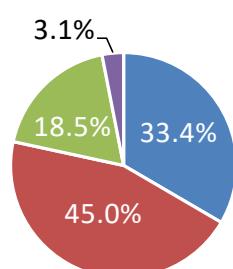
(【参考】2025 年 1 月 8 日の日経平均株価終値 : 39,981.06 円)

グラフ10-1:2025年日経平均株価高値予想



- 40,000円未満
- 40,000円以上42,000円未満
- 42,000円以上44,000円未満
- 44,000円以上46,000円未満
- 46,000円以上

グラフ10-2:2025年日経平均株価安値予想



- 36,000円未満
- 36,000円以上38,000円未満
- 38,000円以上40,000円未満
- 40,000円以上

(出所)マネックス証券作成

・調査結果の詳細は添付の別紙レポートを参照ください。

(グラフの数値は、小数点以下の計算により合計が必ずしも 100.0%とならない場合があります。

以上

第 32 回「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」の実施

日本と米国における調査の実施概要は次のとおりです。

	日本	米国
調査期間	2024 年 12 月 12 日～ 12 月 19 日	2024 年 12 月 12 日～ 12 月 19 日
回答数	1,236 件	395 件

#### 「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」について

マネックス証券は 2009 年 10 月より、個人投資家を対象として相場環境についての意識調査のアンケートを実施し「MONEX 個人投資家サーベイ」として提供しております。2011 年 6 月から 2023 年 12 月まではマネックス証券、TradeStation Securities, Inc.および Monex Boom Securities (H.K.) Limited の 3 社共同で「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」を実施し、日本、米国および中国（香港）の個人投資家の相場環境についての意識を定点観測してきました。2024 年 12 月からはマネックス証券と TradeStation Securities, Inc.の 2 社で日本と米国 の個人投資家の相場環境についての意識調査を行います。

※Monex Boom Securities (H.K.) Limited がマネックスグループの特定子会社ではなくなつたことに伴い、中国（香港）の個人投資家を対象とした調査は 2023 年 12 月をもって終了いたしました。

**【マネックス証券でのお取引に関する重要事項】**

マネックス証券が扱う商品等には、価格変動等により元本損失・元本超過損が生じるおそれがあります。

投資にあたっては、契約締結前交付書面、目論見書の内容を十分にお読みください。

**【マネックス証券株式会社について】**

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本暗号資産等取引業協会、

一般社団法人 日本投資顧問業協会

**【お問合せ先】**

マネックス証券株式会社

経営企画部広報室 津川、福島 電話 03-4323-3981

# MONEX Global Retail Investor Survey



December 2024

MONEX グローバル個人投資家サーベイ 第 32 回 2024 年 12 月調査 マネックス証券株式会社  
[www.monex.co.jp](http://www.monex.co.jp)

個人投資家の皆様の相場環境に対する意識調査のため、マネックス証券でお取引をする個人投資家の皆様に 2024 年 12 月 12 日～12 月 19 日の期間でアンケートを実施しました。ご回答くださった皆様のご協力に感謝いたします。誠にありがとうございました。  
(当社ウェブサイトへの掲載日は、2025 年 1 月 15 日です。)

今回は、グループ会社である TradeStation Securities, Inc. (米国) の個人投資家の皆様にも同様のアンケートを行い、個人投資家の皆様の現在の相場観等を「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」としてまとめました。グローバルな意識調査が資産運用の一助となれば幸いです。

「MONEX 個人投資家サーベイ」は 2009 年 10 月より、「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」は 2011 年 6 月より実施しております。

## ※ 調査について

- MONEX グローバル個人投資家サーベイは、2011 年 6 月～2016 年 6 月までは原則四半期毎、2016 年 12 月より半年毎、2019 年より 1 年毎に調査しております。
- 日本限定の個人投資家サーベイは、2009 年 10 月から 2016 年 4 月までは毎月、2016 年 6 月から 2016 年 12 月までは 2 ヶ月毎、2017 年 3 月から現在まで四半期毎に調査しております。
- Monex Boom Securities (H.K.) Limited がマネックスグループの特定子会社ではなくなったことに伴い、中国（香港）の個人投資家を対象とした調査は 2023 年 12 月をもって終了いたしました。

## ■調査結果の要約

### 1. グローバル調査結果 調査対象：日本・米国の個人投資家

#### (1-1) 世界の株式市場見通し DI<sup>(注)</sup> は米国の個人投資家においては下落

日本と米国の個人投資家に今後3か月程度の世界の株式市場に対する見通しをたずねたところ、日本の個人投資家のDIは前回調査（2023年12月実施）と比較して上昇した一方で、米国の個人投資家においては下落しました。

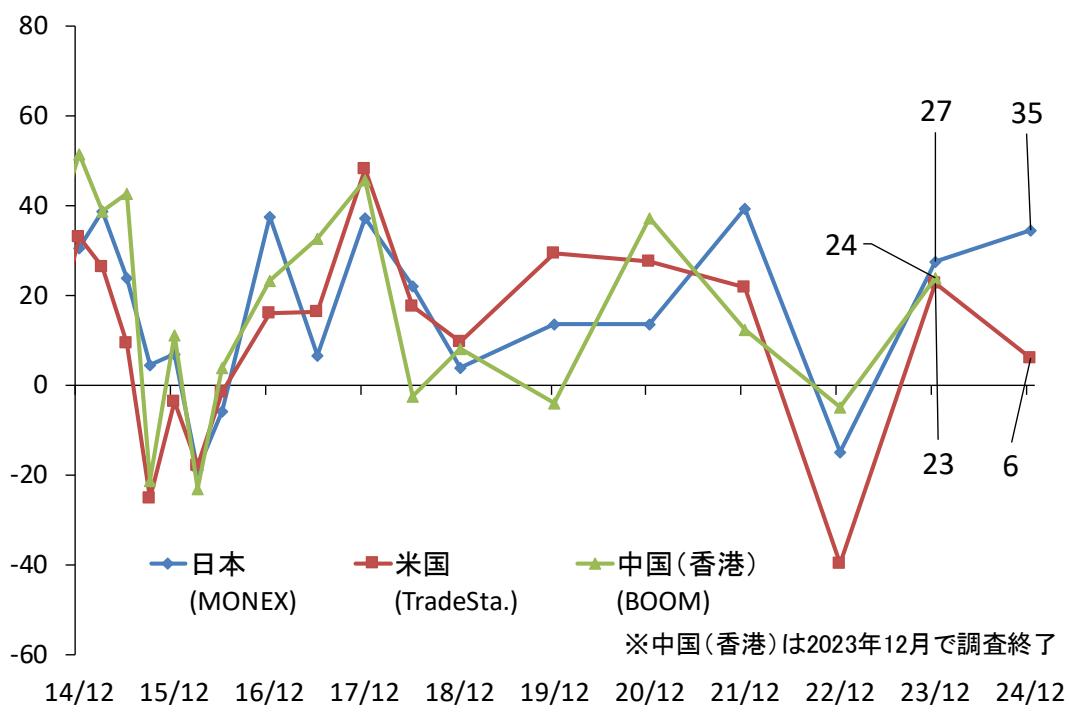
#### 【世界の株式市場見通し DI】

日本： (2023年12月) 27 → (2024年12月) 35 (前回比 +8 ポイント)

米国： (2023年12月) 23 → (2024年12月) 6 (前回比 -17 ポイント)

#### グラフ1:個人投資家の世界の株式市場に対する見通し(三地域のDI推移)

(日本、米国、中国(香港)の個人投資家)



(出所)マネックス証券作成

注) DI (diffusion index)

「上昇すると思う」、「よくなると思う」と回答した割合(%)から「下落すると思う」、「悪くなると思う」と回答した割合(%)を引いたポイント

## (1-2) 日本・米国の個人投資家とともに米国マーケットへの期待が最も高い割合に

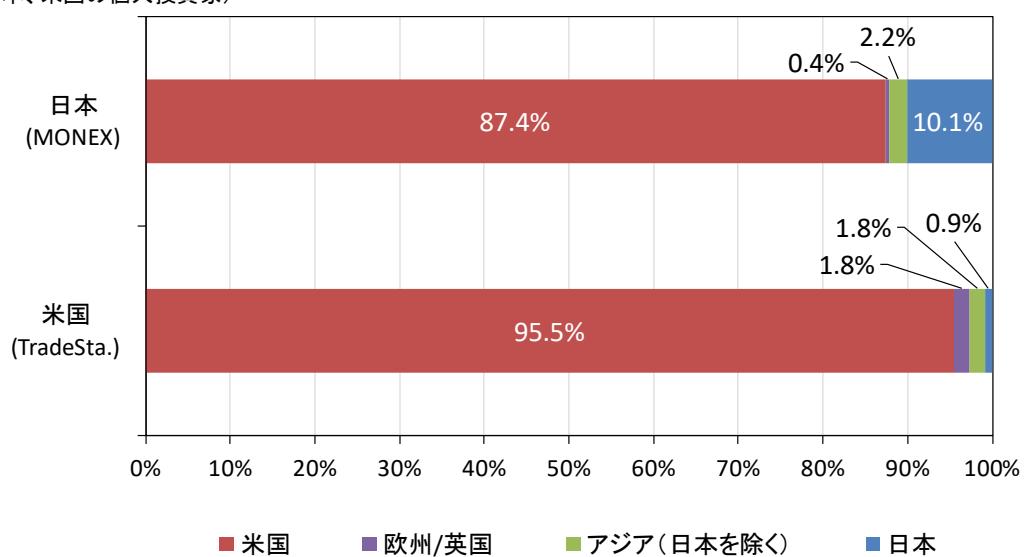
日本と米国の個人投資家に今後3か月で株価の上昇が最も期待できる地域についてたずねたところ、日本の個人投資家と米国の個人投資家とともに「米国」と回答した割合が最も高くなりました。特に米国の個人投資家の米国への期待は95%超となっております。世界の投資家の米国への期待の高さが確認されました。

## 【今後3か月のマーケットへの期待度】

日本	米国: 87.4%、欧州/英国: 0.4%、アジア(日本を除く): 2.2%、日本: 10.1%
米国	米国: 95.5%、欧州/英国: 1.8%、アジア(日本を除く): 1.8%、日本: 0.9%

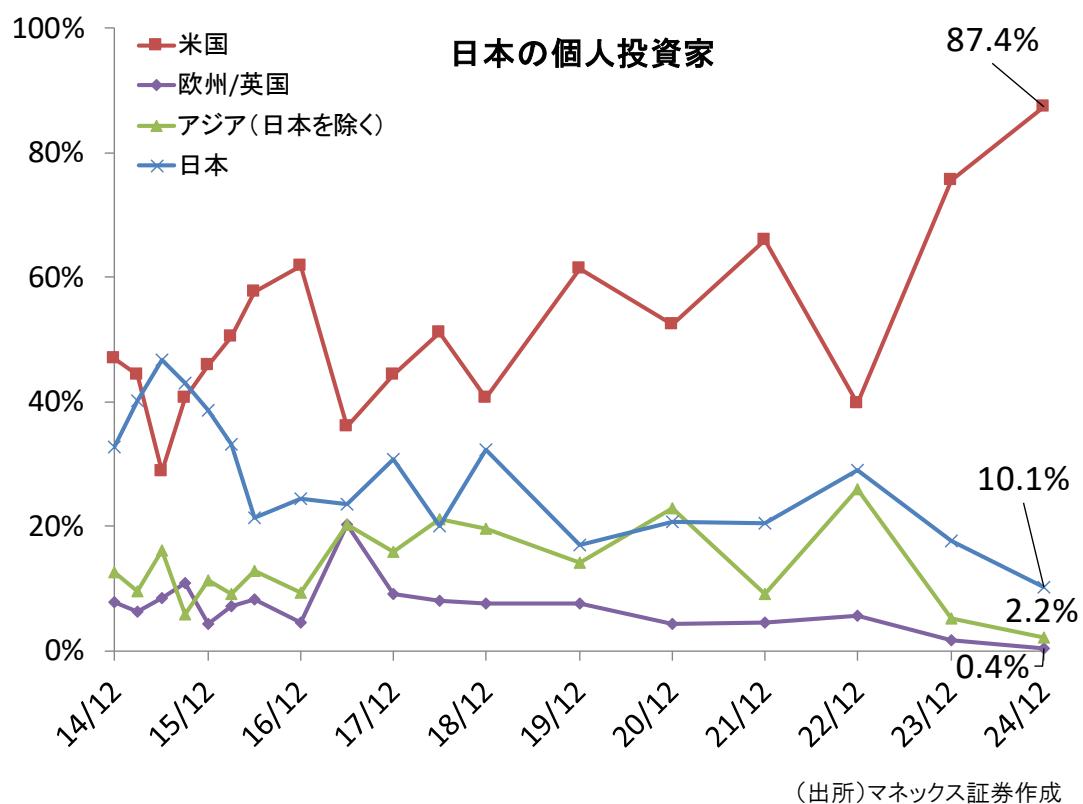
## グラフ2-1: 今後3か月で、どの地域のマーケットが上昇するか(各地域の回答内訳)

(日本、米国の個人投資家)

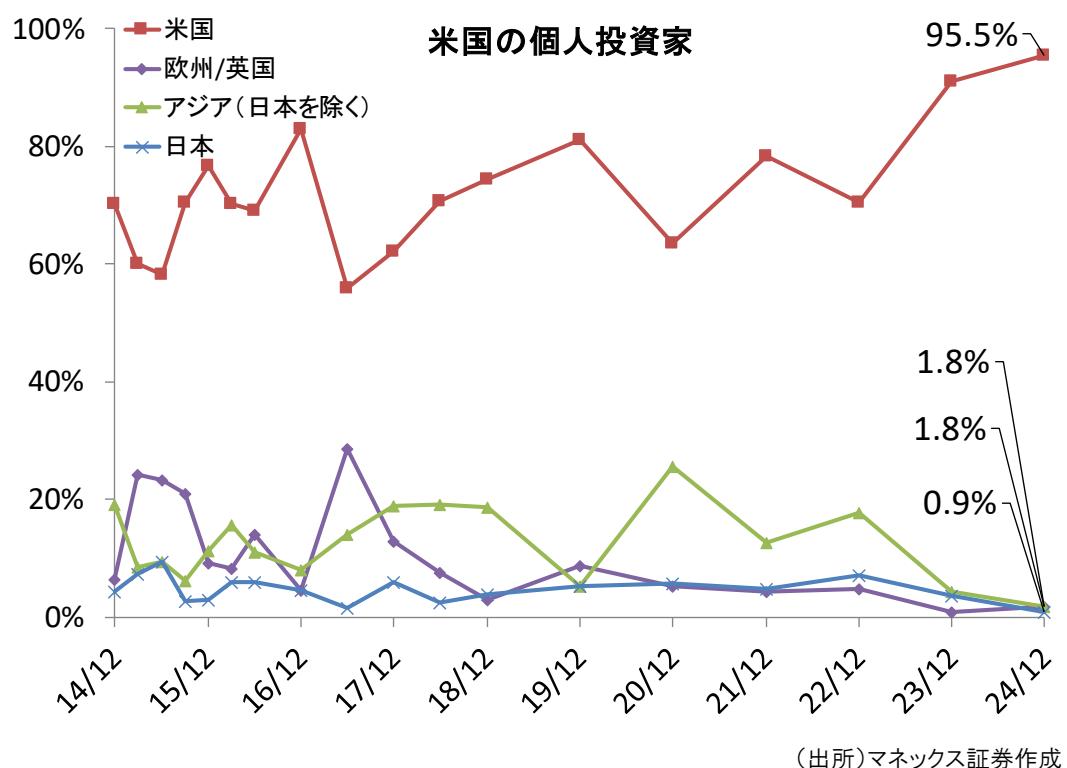


(出所)マネックス証券作成

グラフ2-2: 今後3か月で、どの地域のマーケットが上昇するか(回答推移)



グラフ2-3: 今後3か月で、どの地域のマーケットが上昇するか(回答推移)



**(1-3) 2025年の米国マーケット予想、ダウ平均株価の高値予想は45,000ドル以上49,000ドル未満が最多**

日本と米国の個人投資家に2025年のダウ平均株価とNASDAQ総合指数の高値予想、安値予想をたずねました。2025年のダウ平均株価の高値予想については日本の個人投資家と米国の投資家ともに「45,000ドル以上49,000ドル未満」と回答した投資家の割合が最も高くなりました。調査時点の史上最高値は45,014ドルであり、更なる上昇を予想する方が多いようです。一方で安値予想については日本の個人投資家と米国の投資家ともに「39,000ドル以上42,000ドル未満」と回答した割合が最も高くなりました。

(【参考】2025年1月8日のダウ平均株価終値：42,635.20ドル)

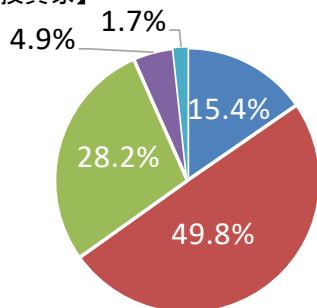
2025年のNASDAQ総合指数の高値予想については日本の個人投資家と米国の投資家ともに「21,000ポイント以上23,000ポイント未満」と回答した投資家の割合が最も高くなりました。日本の個人投資家においては「19,000ポイント以上21,000ポイント未満」と回答した投資家の割合がほぼ同程度となっています。一方で安値予想については日本の個人投資家は「15,000ポイント以上17,000ポイント未満」と回答した投資家の割合が最も高く、米国の個人投資家は「17,000ポイント以上19,000ポイント未満」と回答した投資家の割合が最も高くなりました。総じて日本の個人投資家は米国の個人投資家に比較してやや保守的な見方をしているようです。

(【参考】2025年1月8日のNASDAQ総合指数終値：19,478.88ポイント)

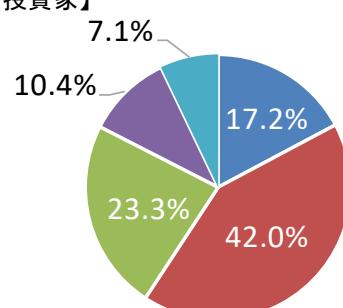
**【ダウ平均株価】**

**グラフ3-1：2025年ダウ平均株価高値予想**

**【日本の投資家】**



**【米国の投資家】**



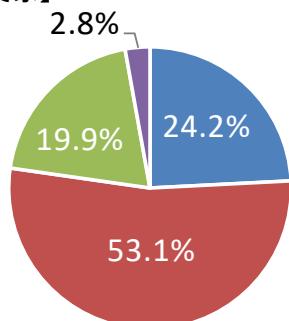
- 45,000ドル未満
- 45,000ドル以上49,000ドル未満
- 49,000ドル以上53,000ドル未満
- 53,000ドル以上57,000ドル未満
- 57,000ドル以上

- 45,000ドル未満
- 45,000ドル以上49,000ドル未満
- 49,000ドル以上53,000ドル未満
- 53,000ドル以上57,000ドル未満
- 57,000ドル以上

(出所)マネックス証券作成

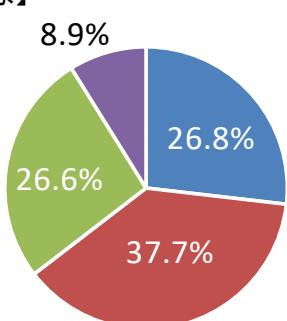
グラフ3-2: 2025年ダウ平均株価安値予想

【日本の投資家】



- 39,000ドル未満
- 39,000ドル以上42,000ドル未満
- 42,000ドル以上45,000ドル未満
- 45,000ドル以上

【米国の投資家】



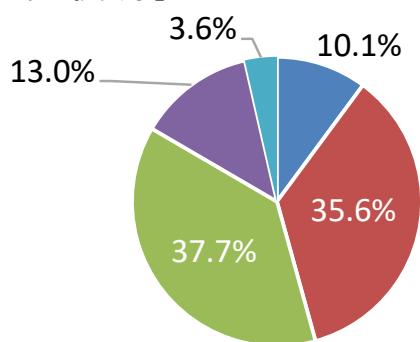
- 39,000ドル未満
- 39,000ドル以上42,000ドル未満
- 42,000ドル以上45,000ドル未満
- 45,000ドル以上

【NASDAQ 総合指数】

(出所)マネックス証券作成

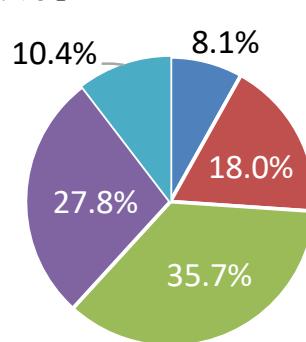
グラフ3-3: 2025年NASDAQ総合指数高値予想

【日本の投資家】



- 19,000ポイント未満
- 19,000ポイント以上21,000ポイント未満
- 21,000ポイント以上23,000ポイント未満
- 23,000ポイント以上25,000ポイント未満
- 25,000ポイント以上

【米国の投資家】

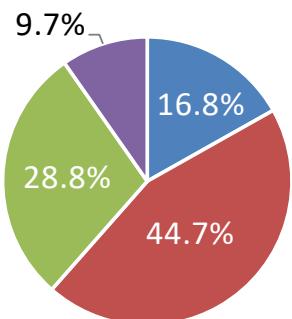


- 19,000ポイント未満
- 19,000ポイント以上21,000ポイント未満
- 21,000ポイント以上23,000ポイント未満
- 23,000ポイント以上25,000ポイント未満
- 25,000ポイント以上

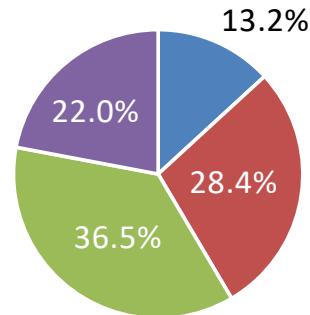
(出所)マネックス証券作成

グラフ3-4: 2025年NASDAQ総合指標安値予想

【日本の投資家】



【米国の投資家】



- 15,000ポイント未満
- 15,000ポイント以上17,000ポイント未満
- 17,000ポイント以上19,000ポイント未満
- 19,000ポイント以上

- 15,000ポイント未満
- 15,000ポイント以上17,000ポイント未満
- 17,000ポイント以上19,000ポイント未満
- 19,000ポイント以上

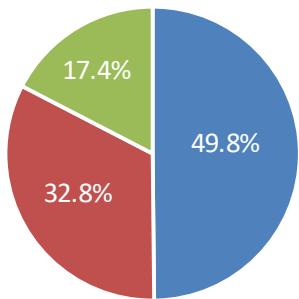
(出所)マネックス証券作成

#### (1-4) リスク回避の必要性について日本の投資家はやや樂観的

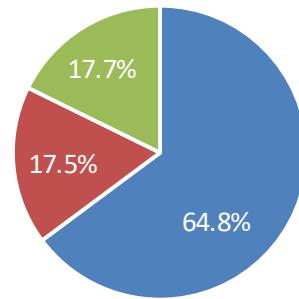
日本と米国の個人投資家に現在の市場環境においてリスク回避をある程度行う必要があると思うかをたずねたところ、米国の個人投資家はリスク回避の必要性が「ある」との見方が6割以上ある一方、日本の個人投資家は5割を下回っています。

グラフ4: リスク回避の必要性があると思うか

【日本の投資家】



【米国の投資家】



- 思う
- 思わない
- わからない

- 思う
- 思わない
- わからない

(出所)マネックス証券作成

#### (1-5) 日本・米国の個人投資家の具体的なリスク回避策

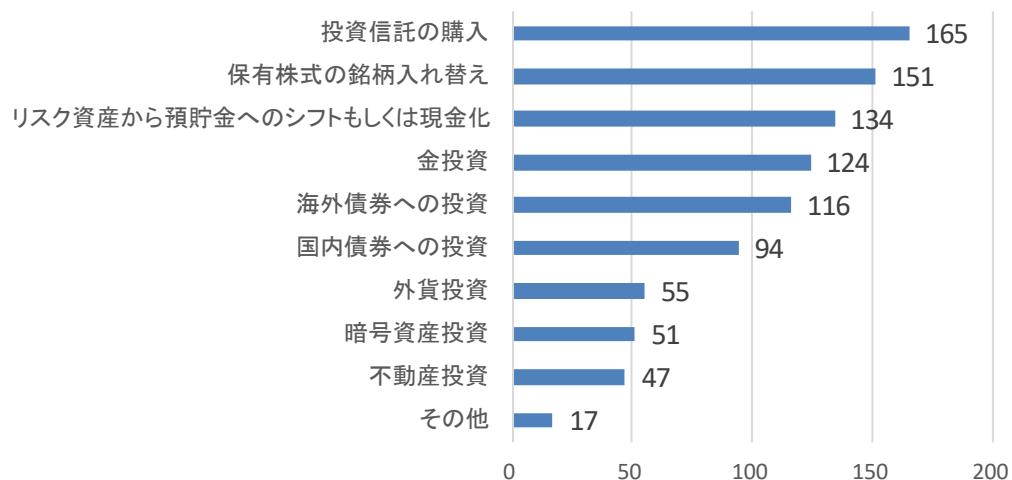
2024年中にリスク回避策を実行したと回答した日本と米国の個人投資家に具体的なリスク回避策をたずねました。

日本の個人投資家のリスク回避策は投資信託の購入を始めとして様々な選択肢に分散している印象です。一方で米国の個人投資家は預貯金・現金へのシフトが他の選択肢を抑

えて最多となりました。

### 【日本の個人投資家】

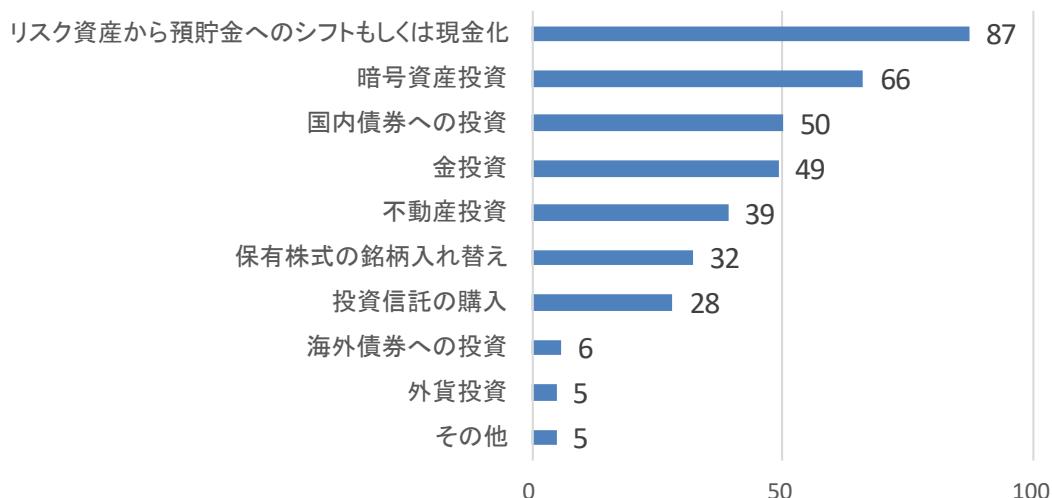
#### グラフ5-1: 具体的にどんなリスク回避策を実行したか



(出所)マネックス証券作成

### 【米国の個人投資家】

#### グラフ5-2: 具体的にどんなリスク回避策を実行したか



(出所)マネックス証券作成

### (1-6) トランプ大統領の再選を受けたマーケットの見通し

日本と米国の個人投資家にダウ平均株価・NASDAQ 総合指数・米国 10 年物国債利回りがトランプ大統領の再選を受けてどう変化すると思うかをたずねました。

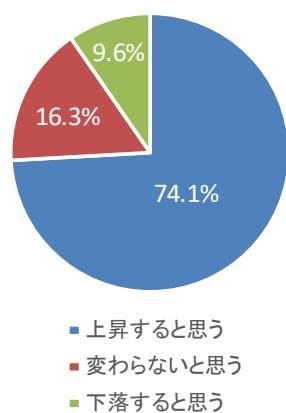
日本の個人投資家と米国の個人投資家ともに、ダウ平均株価と NASDAQ 総合指数はトランプ大統領の再選を受けて「上昇すると思う」という回答が最多で約 7 割を占めています。

す。一方で米国 10 年物国債利回りについては「上昇」「変わらない」「下落」それぞれの見方が拮抗する結果となりました。

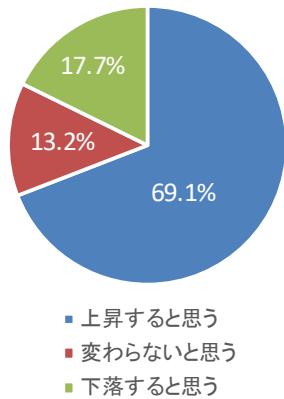
### 【ダウ平均株価】

グラフ6-1: トランプ大統領の再選を受けてダウ平均株価はどう変化すると思うか

#### 【日本の投資家】



#### 【米国の投資家】

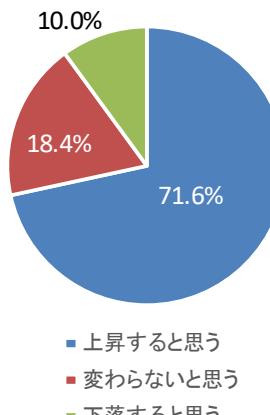


(出所)マネックス証券作成

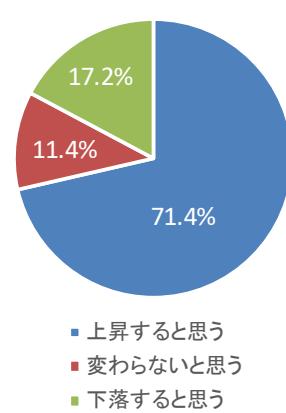
### 【NASDAQ 総合指数】

グラフ6-2: トランプ大統領の再選を受けてNASDAQ 総合指数はどう変化すると思うか

#### 【日本の投資家】



#### 【米国の投資家】

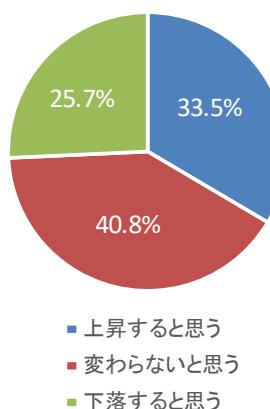


(出所)マネックス証券作成

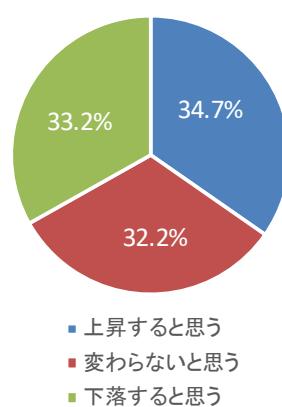
### 【米国 10 年物国債利回り】

グラフ6-3: トランプ大統領の再選を受けて米国10年物国債利回りはどう変化すると思うか

【日本の投資家】



【米国の投資家】



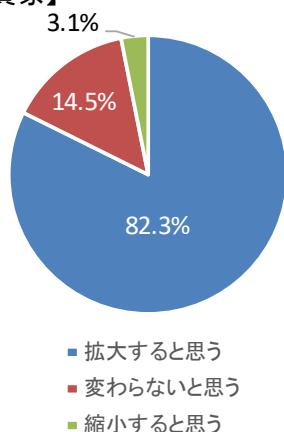
(出所)マネックス証券作成

## (1-7) 日本・米国の個人投資家とともに2025年の生成AI市場は拡大するとの見方が最多

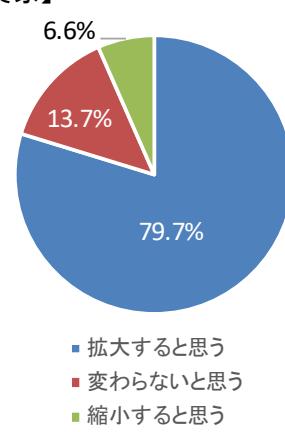
日本と米国の個人投資家に2025年の生成AI市場はどう変化すると思うかをたずねたところ、日本の個人投資家と米国の個人投資家とともに「拡大すると思う」という回答が約8割となりました。

グラフ7: 2025年の生成AI市場はどう変化すると思うか

【日本の投資家】



【米国の投資家】



(出所)マネックス証券作成

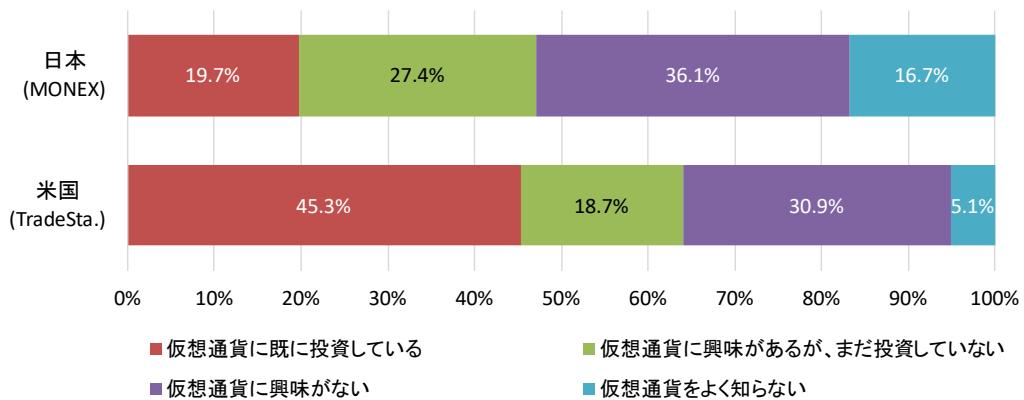
## (1-8) 日本の投資家の暗号資産投資への関心は米国の投資家に比べてまだ低い

日本と米国の個人投資家に暗号資産（仮想通貨）への投資経験や意欲についてたずねました。

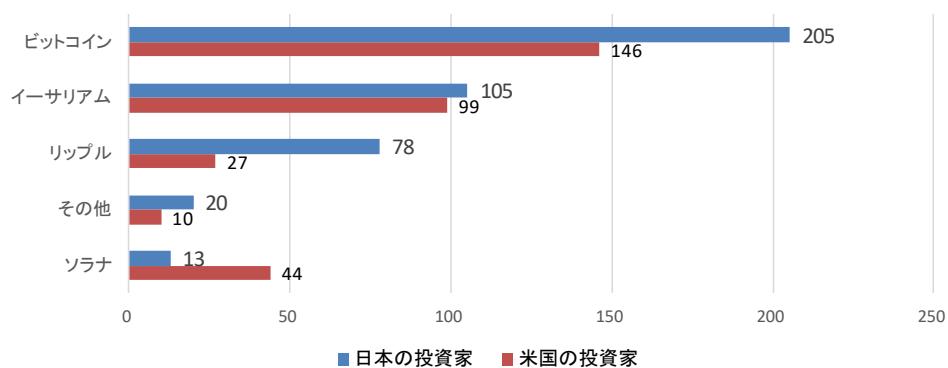
既に暗号資産に投資している個人投資家の割合は日本が 19.7%、米国が 45.3%となりました。特に日本の投資家においては「興味が無い」、「よく知らない」という割合が多く、投資対象としての関心はまだ低い印象です。

既に投資していると回答した個人投資家に具体的な銘柄をたずねたところ、日本と米国ともにビットコインが最多、イーサリアムが次ぐ結果となりました。選択肢のうちソラナは日本での回答数は少ないものの、米国においてはリップルを上回る回答数となりました。

#### グラフ8-1: 暗号資産(仮想通貨)への投資に対する関心度合い



#### グラフ8-2: 投資している暗号資産(仮想通貨)



## 2. 日本限定の調査結果 (四半期に 1 回) 調査対象: 日本の個人投資家

### (2-1) 今後 3 か月程度の株価予想は日本株・米国株・中国株全ての DI が上昇

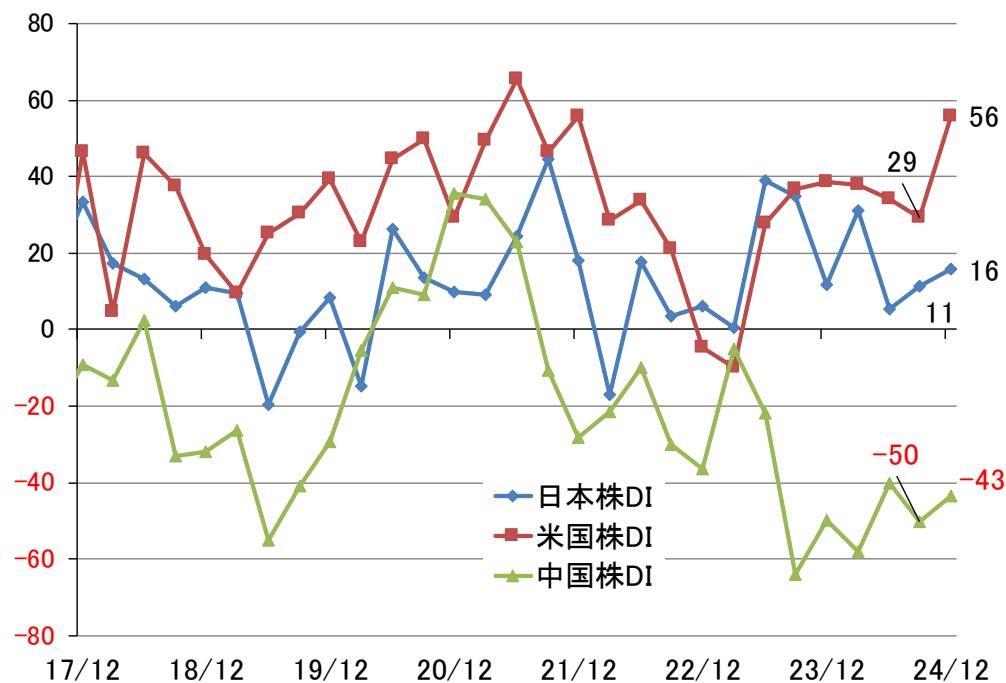
日本の個人投資家に今後 3 か月程度の各国（日本、米国、中国）株価の見通しをたずねたところ、日本株・米国株・中国株全ての DI が上昇しました。特に米国株の DI は+27 ポイントと大きく上昇しています。

【日本株 DI】(2024 年 9 月) 29→(2024 年 12 月) 56 (前回比 +27 ポイント)

【米国株DI】(2024年9月) 11 → (2024年12月) 16 (前回比 +5 ポイント)

【中国株DI】(2024年9月) -50 → (2024年12月) -43 (前回比 +7 ポイント)

## グラフ9-1: 今後3か月程度の株価予想



(出所)マネックス証券作成

## グラフ9-2: 日経平均株価(終値)と日本株DIの推移



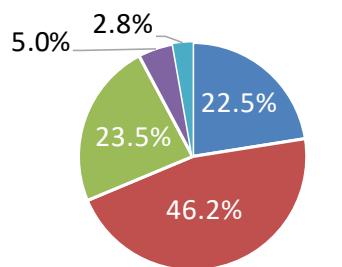
(出所)マネックス証券作成

## (2-2) 日経平均株価の高値予想は 40,000 円以上 42,000 円未満が最多で 46. 2%

2025 年の日経平均株価の高値および安値の予想をたずねたところ、日経平均株価の高値予想は「40,000 円以上 42,000 円未満」が最多で 46.2%となりました。安値予想は「36,000 円以上 38,000 円未満」が最多で 45.0%となっています。調査時点の史上最高値は 2024 年 7 月につけた 42,224 円であり、2025 年中にそれを上回ることはないとする見方が約半数を占めています。

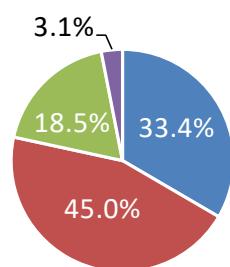
(【参考】2025 年 1 月 8 日の日経平均株価終値 : 39,981.06 円)

グラフ10-1:2025年日経平均株価高値予想



- 40,000円未満
- 40,000円以上42,000円未満
- 42,000円以上44,000円未満
- 44,000円以上46,000円未満
- 46,000円以上

グラフ10-2:2025年日経平均株価安値予想



- 36,000円未満
- 36,000円以上38,000円未満
- 38,000円以上40,000円未満
- 40,000円以上

(出所)マネックス証券作成

## 総 括 (マネックス証券 インベストメント・ストラテジーズ 塚本 憲弘)

「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」、第 32 回の結果をお届けします。今回は 2025 年の日米株価高値・安値予想に加え、リスク回避の必要性について日米個人投資家に調査を行っており、また生成 AI や暗号資産への関心についても伺いました。

調査対象の日経平均株価は、8 月初旬の急落後に持ち直したもの約 4 万円を手前にもみ合いの展開となりました。一方ダウ平均株価は高値追いの展開を続け、12 月に一部構成銘柄の調整によって上値が重くなりましたが、S&P500 指数やNASDAQ 総合指数は最高値圏で本年を終えようとしています。

そのような環境下で行った調査結果によると、世界株について日本の投資家は楽観が増加、米国の投資家は楽観が減少したものの、DI は共にプラス圏となっております。日米投資家ともに米国株に対する期待値が高く、予想値では米国の投資家より日本の投資家の方が相対的に保守的な見通しとなりましたが、リスク回避については 65% 近い米国の投資家が必要と見ている一方、日本の投資家では半数にも満たない結果となっております。

マネックス証券では日米株式市場の展望に加え、為替市場や金利、暗号資産の見通し、また重要経済指標についての解説などタイムリーに情報を発信してきました。選挙イヤーと呼ばれる 2024 年を終え、2025 年は各国で新たな政治が動き出すなか、リスク回避に資する分散投資戦略を含め、よりよい情報発信ができるよう精進していく所存です。引き続き皆様の投資対象の選定や投資行動、成果向上がなされるよう努めてまいります。

今回も皆様のご協力により有益な調査結果を得ることができました。皆様の資産運用を考える一助となれば幸いです。

(2024 年 12 月 26 日執筆)

## ■調査の概要と回答者の属性

(日本)

調査方式 : インターネット調査  
 調査対象 : マネックス証券で取引をする個人投資家  
 回答数 : 1,236 件  
 調査期間 : 2024 年 12 月 12 日～12 月 19 日

【性別】

男性	女性	回答しない
79.0%	19.2%	1.8%

【年齢】

10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 歳以上
0.1%	0.4%	7.4%	18.0%	33.8%	28.5%	9.7%	2.0%

【金融資産】

500 万未満 1000 万	500 万～ 1000 万	1000 万超 ～2000 万	2000 万超 ～5000 万	5000 万超 ～1 億	1 億超
17.8%	13.2%	17.5%	25.2%	15.8%	10.5%

【売買頻度】

デイトレ	週に数回	月に数回	月に 1 回	数ヶ月に 1 回	それより少ない
3.9%	11.7%	32.8%	16.3%	17.2%	18.2%

【株式投資のご経験】

1 年未満	1 年～5 年	5 年～10 年	10 年超
6.6%	16.3%	14.8%	62.3%

(米国)

調査方式 : インターネット調査  
 調査対象 : TradeStation Securities, Inc. で取引をする個人投資家  
 回答数 : 395 件  
 調査期間 : 2024 年 12 月 12 日～12 月 19 日

本情報はグループ各社が実施したアンケートに基づいて作成したものです。

- ・本情報は売買のタイミングなどを反映したものではなく、また示唆するものではありません。
- ・当社は記載した銘柄の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・当社は本情報の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではございません。
- ・銘柄選択や売買タイミングなどの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようにお願いいたします。
- ・本サービスは、グループ各社において実施したアンケートの集計結果をまとめたものでありグループ会社間において個人情報の授受は行っておりません。
- ・グラフの数値について小数点以下の計算により、合計が必ずしも 100.0%とならない場合があります。

## マネックス証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 165 号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本暗号資産等取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会